あなたをやさしくエスコートする...

カワムラサイクル



電動車いす KE31シリーズ

取扱説明書



運転に慣れるまでは、広く平坦な場所で充分な練習

をしてください。 安全を第一に考え、「あぶない!」と思われる場所は

できるだけ避けて走るようにしましょう。

女全に関するこ注意	1
1.同梱部品の確認	6
2.安全ラベル	6
3.各部名称と取り扱い	7
4.組立方法	9
5.運転前の点検	11
6.運転の仕方	12
7.バッテリーの充電	17
8.お手入れと点検	21
9.運搬	22
10.故障かな?	23
11.仕様	24
12.定期点検と記録	25
13.車体番号	27
14.保証	28

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法 が記載されています。

ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご利用いただく際には必ず携帯してください。



安全に関するご注意 ご使用になる前に必ずお読みください。

[表示マークの説明]

☆ 警告 この表示は「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」 内容です。

◇ 禁止 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

以下の注意点以外であっても、無理な使用はお止めください。事故の原因になります。

◎禁止

カワムラサイクルの電動カートは道路交通法の「身体障害者用車いす」に該当し、走行中は歩行者として取扱われます。従って「運転免許証」は必要なく、道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。なお、大きく寸法の改造を行う場合には警察の確認が必要です。その際は販売店にご相談ください。

この商品は電動カートです。電動カート以外の目的で 使用しないでください。

(車や荷物をけん引することは禁止されています。)



酒気帯び運転は操作を誤る危険性がございますので、 絶対にお止めください。また、気分が優れないときも運転 しないでください。

勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。(保証対象外となります。)

⚠ 警告

電動カートを火気に近付けないでください。 ボディーが変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、 大変危険です。



携帯電話や PHS、トランシーバ等の通信機器から出る電磁波が、まれに周りの電気機器類に悪影響を及ぼす場合があることが知られています。万一電動カートがこの電磁波の影響を受けて停止したと思われる場合は、慌てずに一旦電源を切り、周りに携帯電話等を使用している人がいない(1.5m 以上離れている)ことを確認し、再度電源スイッチを入れ直し、3 秒以上数えてからゆっくりとアクセルバーを押して発進してください。また、高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている場所での使用は避けてください。

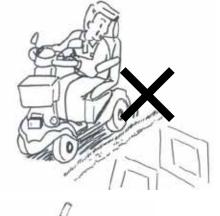
⚠ 警告

踏み切り、川の端、手すりのない橋等は大変危険ですので、出来るだけ避けて運転してください。また、 交通量の激しい道路や踏み切り等は介助者と一緒に 走行されることをお勧め致します。

踏み切りや溝を横断する場合は、必ず一旦停止し、 安全を確かめてから横断してください。また、進入 するさいは、線路(溝)に車輪がはまらないよう 線路(溝)に対して直角に横断してください。

万一、踏み切りや歩道内で立往生した場合は、 右側後輪部付近のクラッチレバーを『手動』 状態にし、手で押して脱出してください。

電車や自動車が近づくなど危険な場所は、 身の安全を優先し、安全な場所へ直ちに 避難してください。





走行中に電源のスイッチを切らないでください。 急停止して危険です。





後進の時は、周囲の安全をよく確認してゆっくりと運転して ください。

道路の中央を走行しないでください。

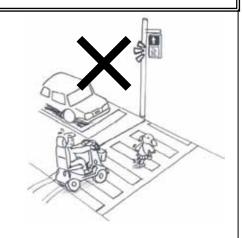
シート部以外に腰掛けないでください。



⚠ 警告

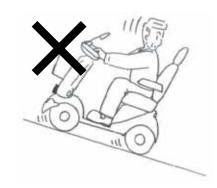
大きな交差点では信号を一回待って横断してください。 途中で信号が変わるおそれがあり危険です。





雨の日の運転は避けてください。雨水が操作パネル内に 入ると操縦不能になる事があり、危険です。 また、水洗いしないでください。

夜間での走行は避けてください。



坂道での後進は転倒する恐れがありますので、 絶対にしないでください。

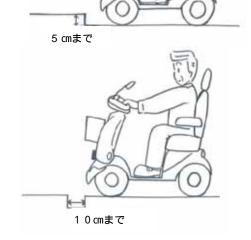
(下り坂は必ず前進で、速度調節ダイヤルを低速に合わせ、 慎重に走行してください。)

転落の恐れがありますので、階段、溝等、落差のある場所 には近づかないでください。

大きな段差・溝の乗越えは避けて走行してください。 乗越えできる最大段差は5cmまでです。 段差に対して直角方向に乗越え、上り坂は特に 避けてください。

乗越えできる溝の最大幅は 10 cmまでです。 溝に対して直角方向に乗越え、上り坂は 特に避けてください。

階段やエスカレーターでの使用はしないでください。



⚠ 注 意

下記のようなところに電動車いすを放置しないでください。

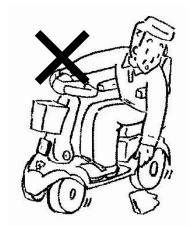
- 一記のようなことうに电動士バッと放置しないとくだら
- ・車道に近いところ ・人通りのあるところ ・路面に段差や凸凹のあるところ
- ・湿気の多いところ・・雨風の当たるところ・火気のあるところ
- ・傾斜地

アクセルレバーは出来るだけゆっくり操作してください。急な操作を行なうと、急発進・ 急停止になり大変危険です。また急発進を繰り返し行なうと、モーターに過負担がかか り故障の原因につながります。

深い砂・砂利道・ぬかるみは避けてください。車輪がめり込んで動けなくなる事があり、 故障の原因になります。

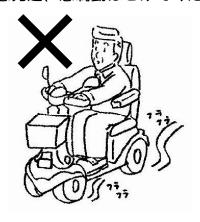
この電動カートは 1 人乗りです。危険ですので二人乗りはしないでください。 また、走行中に身を乗り出したり、足を出したりすると危険ですのでお止めください。

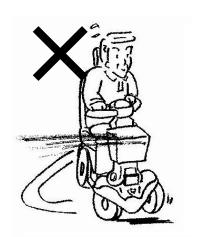




使用されない時、またはカートから離れる時は、いたずら防止のためキーを抜いておく ことをお勧め致します。

蛇行運転、急旋回、急発進、急制動はさけてください。





携帯電話やトランシーバーを使用しながら運転しないでください。

注意

雪道は道路が滑りやすく大変危険ですので、運転をお止め下さい。

急な坂道を上り下りする事は避けて下さい。

急な坂道の走行は、転倒の恐れがありますので 避けてください。

坂道は斜め走行や横切る事をせず、まっすぐ 前進で上り下りしてください。



急な坂道を連続して走行すると、急にブレーキが効いて動かなくなる時がありますが、 これは回路ブレーカーが働いた為ですので、ブレーカーを押し込むと、再度運転するこ とが出来ます。(ブレーカーが働く時は、能力を超えたことになりますので、進路を変え てください。ブレーカーは後カバー上面の穴があいているところにあります。)

突起物、障害物は避けて走行してください。また、突起物、障害物を左右の車輪の間に くぐらせるような走行は避けて下さい。バッテリーやモーターを破損する恐れがありま す。

ギア・モーター部より異常な音が出た場合はご使用を避け、お買い上げの販売店にご相談ください。

回転している車輪に指を差し込まないように注意してください。また、衣服等が車輪や 操作レバーにからまないようご注意ください。

前カゴには2kg以上の荷物は入れないでください。

空気圧が低すぎると走行が不安定になります。

使用者の最大体重は 110kg(積載物を含む)です。 重量をオーバーしないように使用してください。

電動カートの取扱い知識のない人が乗ると危険です。他人に貸し、事故が起きたときは、 貸した人の責任なる場合があります。また、子供のおもちゃにはしないでください。

なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。



《型式認定》 国家公安委員会から型式認定をうけております。

「TSマーク」は、道路交通法令などに定められている基準を満たし、 国家公安委員会の型式認定を受けた場合に貼ることができる標章です。

1.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

キー2個充電器1個前力ゴ1個転倒防止車輪1ペア説明書1冊ビデオ1個

2.安全ラベル

- ・ 取扱上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべて読ん でからご使用ください。
- ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。

3.各部名称と取り扱い





最高速度設定

走行時の最高速度を設定できます。後進時の最高速度は、前進時の ダイヤル 70%となります。

ダイヤルを時計回りにまわして低速から高速へ速度を無段階(0~ 6km/h)に調整することができます。

「MIN」の最低速から 1、2、3、・・・5、6 と徐々に速度が上がり、 「MAX」のとき最高速度で走行します。

バッテリーモニター バッテリーの残量を示します。

残量の確認は平坦路を数分走行してから行います。

(発進時や登坂・段差では一時的に残量表示の針が左へ移動してしま うことがあります。)

冬期はバッテリーの性能が低下するため、残量表示の針が早く左に 移動していくことがあります。

走行中に残量表示の針が黄色又は赤い部分を指しているときはバ ッテリー切れになる恐れがあります。速やかに充電してください。

電源スイッチ

キーを差し込んで時計回りにいっぱいにまわすと電源が入ります。 バッテリーモニターの点灯を確認してください。

電源を切るときは反時計回りにキーをまわし、元の位置でキーを抜 きます。

前進用(右)アクセル 押すと前に進みます。

レバーから手を放すと自動的にブレーキがかかります。

レバーの押し加減で、0 から設定最高速度の間で走行速度を調節で きます。

急発進は大変危険です。

後進用(左)アクセル 押すと後ろに進みます。

レバーから手を放すと自動的にブレーキがかかります。

レバーの押し加減で、0 から設定最高速度の間で走行速度を調節で きます。

ホーン(警笛) スイッチ(黄色)を押すとホーン(警笛)が鳴ります。

スイッチ

クラッチレバー 走行、手押しの切り換えができます。

> 停止しているときは電磁ブレーキがかかっており動きません。手押 しするには後輪右側のクラッチレバー(赤色)を引き上げます。

後部転倒防止 坂道での転倒防止用にシャーシ後部に付属の補助輪を取り付けてく 補助車輪 ださい。

肘掛け 乗降車時、上へ跳ね上げることができます。

前カゴ お買い物等にご利用ください。

前カゴには 2kg 以上の荷物は入れないでください。

⚠ 警告

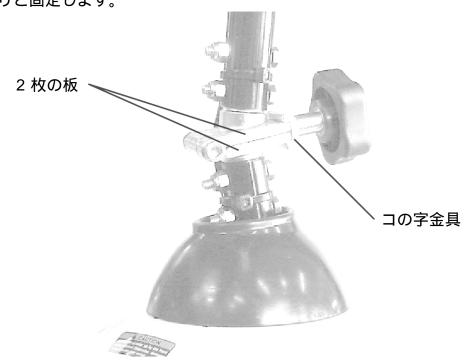
転倒・衝突の恐れがあります。危険ですのでクラッチレバ - を上げた状態<u>手動</u>の状態)では乗車走行しないでください。

坂道等ではブレ - キが効かず事故につながることがあります。クラッチレバ - を上げた状態 (手動の状態)で放置することは止めてください。

4.組立方法

【1】ハンドルを立てて固定します。

ハンドルを立てて、パイプ下部の 2 枚の板をコの字型の金具で挟み込み、ノブねじでしっかりと固定します。



【2】カゴを取り付けます。

カゴをフロントカバー前部の金具に引っ掛けるようにして取り付けてください。

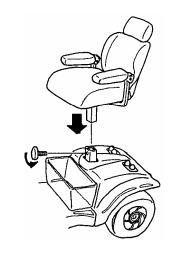
【3】バックミラーを固定します。

バックミラーの取付部のボルトを緩め、バックミラーを見やすい位置に調整し、ボルトをしっかりと締めてください。

締付けが不十分ですと、走行中に緩む可能性があります。

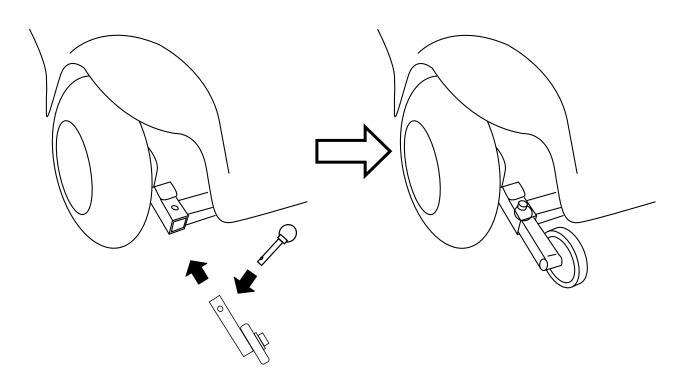
【4】座席シートを固定します。

角パイプを車体受部に差し込み、その上に座席を 差し込み、ノブねじで固定します。



【5】後部転倒防止補助車輪を取り付けてください。

転倒防止を車体に差し込み、ピンを穴に差し込んでください。



5.走行前に点検してください。

走行する前には必ず次の各部を点検し、異常がないことを確認してください。異常があった場合にはご使用をお止めいただき、お買い上げの販売店にご相談ください。

<車体まわり>

バックミラー	汚れや損傷はありませんか?
反射板 (リフレクター)	ゆるみ、ガタはありませんか?
タイヤ	亀裂や損傷はありませんか?
	タイヤはすり減っていませんか?
	釘、石、その他の異物が刺さったり、噛みこんだりしてい
	ませんか?
クラッチレバー	クラッチレバーは正常に作動しますか?
シート	確実に固定されていますか?
ねじ、ノブ類	ねじ、ノブ類の緩みはありませんか?

<座席に座って>

ハンドル	左右スムーズに動きますか?
	大きなガタつきはないですか?
バックミラー	見やすいように位置の調整はしましたか?
バッテリーモニター	残量表示の針が「F」を指していますか?
ホーン(警笛)	ホーンは鳴りますか?

< 走行して >

アクセルレバー	押さえる、離すの操作で走行、停止しますか?
最高速度設定ダイヤル	正常に作動しますか?
モーター	モーターに異常音はないですか?
	電磁ブレーキは正常に作動しますか?

必ず最高速度設定ダイヤルを最低速に合わせて点検を開始してください。

6. 運転のしかた

<お出かけの前に・・・>

座席シートがしっかりと固定されている事を確認してください。

クラッチレバーを下に下げた状態(<u>電動</u>の状態)にあって、車輪が動かない事を確認してください。

必ず、平らな場所で乗車してください。

バッテリーが充分に充電されている事を確認してください。

⚠ 警 告

危険ですのでクラッチレバーを上げた状態(手動の状態)では乗車走行しないでください。転倒・衝突の恐れがあります。

クラッチレバーを上げた状態(<u>手動</u>の状態)で放置することは止めてください。坂道等ではブレーキが効かず事故につながることがあります。

坂道や斜面での乗車は転倒する危険があります。

<出発しましょう!>

発進について

座席シートに深く腰掛けて正しい姿勢で座ってください。

最高速度設定ダイヤルを最低速「MIN」に合わせ、電源スイッチにキーを差し込み時計回りにいっぱいにまわします。これで電源が入ります。

この時バッテリーモニターが「F」になっていることを確認してください。

右の前進用アクセルレバーを右親指で徐々にハンドル側にゆっくり押すと前に進み、はなすと電磁ブレーキが作動し停止します。慣れるまでこの作業を繰り返し練習してください。 左の後進用アクセルレバーを左親指で徐々にハンドル側にゆっくり押すと後に進み、はなすと電磁ブレーキが作動し停止します。

⚠ 警告

乗り降りの時は、必ず電源スイッチを切ってください。誤って、前後進レバーに当たりカートが動くと危険です。

急にアクセルレバーを押したり、はなしたりすると急発進急停車の原因になり危険で す。ゆっくりと操作してください。

注意

急発進はモーターに必要以上に負担がかかって故障の原因となります。徐々にゆっくりと発進しましょう。

前進・後進を急激に繰り返したり、短時間に何度も繰り返したりすると、モーターに必要以上に負担がかかって故障の原因となります。前進・後進の切り替えはきちんと停止した状態で行ってください。

走行について

通常の走行

アクセルレバーの押し加減で加速・減速ができます。 最高速度は、最高速度設定ダイヤルにて無段階調整ができます。

走行時の最高速度を設定できます。後進時の最高速度は、前進時の70%となります。

ダイヤルを時計回りにまわして低速から高速へ速度を無段階(0 ~ 6km/h) に調整することができます。

「MIN」の最低速から 1、2、3、・・・5、6 と徐々に速度が上がり、「MAX」のとき最高速度で走行します。

運転に慣れるまで、および室内での走行は「MIN」から 2 までの間に合わせて低速で走行してください。

⚠ 警告

走行中に身を乗り出したり、足を出したりすると転倒したり足をはさんだりする危険があります。

走行中に電源を切らないでください。急停止し転倒する恐れがあります。

坂道での走行

坂道を走行するときは平らな道を走るときよりも危険がともないますので、充分注意する 必要があります。

上り坂での走行

安全のため、上り坂での走行は傾斜角度約 10 度までとしてください。また、急な凸凹道は車輪が穴にはまったりハンドルをとられたりすることがありますので、その道は避けて緩やかな道を走行してください。

下り坂での走行

下り坂の場合もゆっくりとアクセルレバーを押し、慎重に運転してください。最高速度設定ダイヤルを「MIN」から2までの間(低速)に合わせ、前方に注意しながらゆっくり下ります。途中で止まりたい場合はゆっくりと徐々に親指をアクセルレバーから離します。

⚠ 警告

坂道に対してできるだけまっすぐに上り下りしてください。

急ハンドルをきったり、斜めに走ったり、横切ったりすると転倒する危険がありますので絶対に避けてください。

坂道での後進は運転が不安定になり、転倒したり障害物に衝突したりすることがありますので絶対にしないでください。

10 度以上の急坂走行や 5 度以上の傾斜面での走行はハンドルをとられやすく転倒する危険がありますので避けてください。

段差の乗り越え

やむを得ず、段差を乗り越える場合、5cm までの段差までとしてください。

段差のあるところでは、1mくらい手前で最高速度設定ダイヤルを「3」前後に合わせ、車体を段差に対して直角にゆっくりと乗り越えます。斜めになって乗り越えようとするとハンドルをとられて安定性を失って危険です。

前輪が段差を乗り越えようとするときは衝撃がありますので十分注意します。また、段差を下りるときは衝撃を和らげるためさらにゆっくりと走行します。

⚠ 警 告

5cm 以上の段差を乗り越えないでください。転倒の恐れがあります。

⚠ 注 意

段差を乗り越えるために前進・後進を急激に繰り返したり、短時間に何度も繰り返したりすると危険なばかりでなく、モーターに必要以上の負担がかかって故障の原因となります。前進・後進の切り替えはきちんと停止した状態で行ってください。

溝を渡るとき

溝を渡る場合は、平坦で幅 10cm までの溝としてください。

段差を乗り越えるときと同様、溝に対して車体を直角にし速度を落としてゆっくり渡ってください。

⚠ 警告

10cm 以上の溝を乗り越えないでください。転倒の恐れがあります。

⚠ 注 意

溝を渡るために前進・後進を急激に繰り返したり、短時間に何度も繰り返したりすると 危険なばかりでなく、モーターに必要以上の負担がかかって故障の原因となります。前 進・後進の切り替えはきちんと停止した状態で行ってください。

後進するとき

後進するときは身体をひねった姿勢となるため、前進するときよりもさらに注意が必要となります。

まず、最高速度設定ダイヤルを「MIN」から 2 までの間に合わせます。後方の安全を確認しながら、左側の親指で後進用アクセルレバーをゆっくり徐々に押します。このとき、ブザーが鳴ります。

走行時の最高速度を設定できます。後進時の最高速度は、前進時の 70%となります。 ダイヤルを時計回りにまわして「MAX」にあわせたとき:後進最高速度 4.2km/h となります。

「MIN」の最低速から 1、2、3、・・・5、6 と徐々に速度が上がり、「MAX」のとき最高速度で走行します。

曲がり角では

カーブを曲がるときは後輪がひっかからないよう余裕を持ってハンドルをきります。 建物に入るときや、狭い場所でUターンするときなどは、一旦停止し、最高速度設定ダイヤルを「MIN」から2までの間(低速)に合わせ、ハンドルを行きたい方向にきり、アクセルレバーをゆっくり戻し、スピードを落とします。こうすることで車体を安定させながら安全に運転できます。

⚠ 警告

室内や狭い場所、曲がり角では低速(「MIN」から2まで)でゆっくり走行します。

停車するとき

押しているアクセルレバーをはなすと、自動的に停止します。発進のときと同様にアクセルレバーはゆっくりと操作してください。

注意

駐停車は坂道や斜面を避け、必ず平道で行ってください。

制動距離は走行条件によって変わります。停止するときは余裕を持って行ってください。

降りるとき

- 1.キーを手前に回して電源を切り、キーを抜きます。 このときバッテリー残量表示の針は左へ移動し「E」を指します。
- 2.速度設定ダイヤルを「MIN」から2までの間(低速)に合わせます。

⚠ 注 意

キーを付けたままにしておくと無断で使用されたり、イタズラをされる原因になります。 必ずキーを抜いてください。

手で押して移動するとき

平坦な場所で、電源スイッチを切ってから操作してください。 クラッチレバーを上に上げた状態(<u>手動</u>の状態)にして、ハンドルをしっかり持ち、ゆっく りと押してください。

⚠ 注 意

手で押して移動するときは、必ず電源スイッチを切ってください。

クラッチレバーが手動の時にキーを「ON」にするとブザーが鳴ります。

運転を再開する時は、クラッチを元に戻してください。レバーを下に下げるとクラッチは電動に切り替わります。

キーを ON にしてからクラッチレバーを電動に切り替えても動きません。キーを「OFF」にしてクラッチレバーを電動に切り替えてから、もう一度 ON にしてください。

7. バッテリーの充電

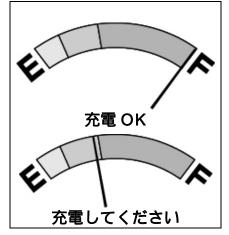
KE31 は充電式バッテリーでモーターを駆動する電動カートです。十分充電の出来ていない電動カートでは、平地でスピードが上がらず登坂力も落ち、走行中に止まる恐れがあります。

バッテリー残量表示の針位置を目安に、充電が必要な時は直ちに充電してください。

バッテリー残量表示の針が F (緑色部分右端)付近を指している状態が満充電です。

走行中にバッテリーの残量が少なくなってくると、残量表示の 針が右から左へ移動していきます。緑色の範囲内でご使用く ださい。

走行中に残量表示の針が黄色又は、赤色部分を指しているときはバッテリー切れになりますのですみやかに充電してください。



バッテリーに関する注意事項

- 1. 発進、停止の繰り返しや上り坂、段差、溝乗り越えなどが多いとバッテリーからの消費電力が増えるため、通常より走行できる距離が短くなります。
- 2. バッテリーは消耗品です。正常な使い方をしていても、充放電を繰り返しているうちに徐々に劣化し、走行時間・距離が短くなります。
- 3. いつもよりバッテリー残量表示針が「E」の方向への動きが早くなったときや、走行できる 距離が短くなったときは、<u>バッテリーの交換時期です。早めに専用バッテリーに交換して</u> ください。そのまま使われると急激に走行距離が短くなることがあります。
- 4. バッテリーは密閉式ですので、バッテリー液の補充の必要はありません。
- 5. 冬期は気温の低下(特に 10 以下の場合)によりバッテリーの働きが弱くなるため、走行できる距離が短くなります。
- 6. バッテリーの充電は必ず専用充電器で行い、火気のない風通しの良いところ、雨露のかからないところで充電してください。
- 7. 充電は必ず充電完了まで行ってください。充電の中断を繰り返すとバッテリーの劣化が早まります。
- 8. バッテリーは自己放電があるため、ご使用にならないときでも一定期間毎(2 週間に1度くらい)に充電してください。
- 9. 充電器には冷却用のファンが付いています。そばに物を置いたり、壁に近付けて冷却の邪魔にならないようご注意ください。

充電について

購入後初めて使用する前に必ず充電してください。

バッテリーを長持ちさせるために、使用したら毎回必ず満充電になるまで充電してください。

長時間使用しないと自然に放電しますので、使用する前に必ず充電してください。

⚠ 注 意

坂道や冬期、使用状況や使用年数により走行時間・距離が短くなります。帰るときのことを考え、余裕を持って走行してください。

充電のしかた

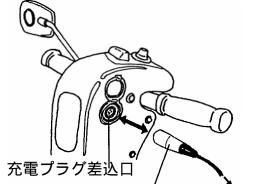
キーをまわして電源スイッチを切り、キーを抜きます。

操作パネル左側の黒いキャップを回して、充電プラグを差込口に差し込みます。

もう一方をコンセントに差し込むと、電源ランプ(赤)点灯、充電ランプ(緑)が点滅し、充電を開始します。

充電中は充電ランプが点滅しています。充電するにつれて、点滅速度が速くなっていき ます。

充電ランプの点滅が止まり、点灯状態になると充電完了です。 バッテリーの残量により、充電にかかる時間は異なります。



充電プラグ 充電器へ

<電源スイッチのある面の反対側の面>



▲注意!!

バッテリーおよび充電器は専用部品であり、この製品以外は絶対に使用しないでください。

品質低下防止のため、満充電にしてから保存してください。

充電方法を間違えると、引火性のガスを発生し、爆発の恐れがかります。

海の近くでは、塩分のない場所で保存してください。

▲ 危険!!

充電中にバッテリーに火気を近付けないでください。引火・爆発する恐れがあります。 手や車体が濡れているときには乾くまで触らないでください。感電の 恐れがあります。

バッテリーを清掃するときは、乾いた布で拭かないでください。静電気が発生し爆発する恐れがあります。

充電時間

バッテリーの残量により、充電にかかる時間は異なりますが、10~16 時間かかることもあります。

ヒント

- ・ 充電時の最適な周囲の温度は 15~25 です。
- 気温が 15 以下のときは、乗り終えてすぐバッテリーが温かいうちに充電するよう心がけてください。

満充電時の走行距離

新品のバッテリーで平らな道を、体重が 7 5 kg の人が乗り、 6 km/h で走行した場合、約 2 4 km (約 4 時間) となります。

ただし、実際の走行時は条件がことなるため、あくまでひとつの目安としてください。

バッテリーの交換

電源スイッチを切り、キーを抜きます。

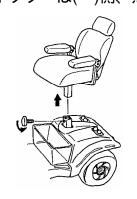
座席シート固定ノブねじを緩め、シートを真っ直ぐ上に引き上げます。(図1)

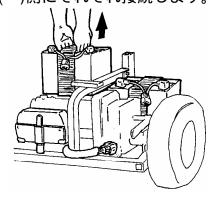
ノブねじを外してカバーを持ち上げて外します。

バッテリーにつながっている赤と黒の接続コネクターをそれぞれ外します。

バッテリーを固定しているベルトを外し、バッテリーを両手で持ち上げます。(図2)新しいバッテリーを用意し、バッテリーコードを付け替えて正しい向きで載せ、固定ベルトで確実に固定してください。

赤のコネクターは(+)側、黒のコネクターは(-)側にそれぞれ接続します。





(図1)

(図2)

企注意

工具等でバッテリーの(+)端子と(-)端子を短絡させないでください。ショートして大変危険です。

使用済みバッテリーはそのまま廃棄せず、販売店に相談してください。 バッテリーを交換するときは指をはさまないよう注意してください。 感電しないように充分ご注意ください。

8. お手入れと点検

<日頃のお手入れと保管>

・ホコリや泥などで汚れた場合はそのまま放っておかずに、水気をよくきったやわらかい布などで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取り、 その後、水気をよくきった柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 注 意

水などをかけないでください。(水洗いは絶対にしないでください。) 電気部品の故障やモーターの回転不良などの原因に なる恐れがあります。

シンナー、ベンジン、ガソリン等で拭かないでください。 変形や損傷などの原因となります。

から拭きしないでください。



・使用しないときは風通しの良い車庫や屋根のあるところに保管してください。直射日光・ 風雨・湿気の多いところでは保管しないでください。また、クラッチレバーは必ず下に下 げた状態(電動の状態)で保管してください。

<日頃の点検>

- ・タイヤはバッテリーと同様、消耗品です。タイヤの溝がなくなってきたら、早めに取り 替えてください。
- ・年に一度はバッテリー交換をしてください。使用しなくても、自己放電して電気容量 が減っていきます。減りすぎると、いくら充電しても元の性能は戻らなくなり、バッ テリーが使用不能になってしまいますので、ご注意ください。
- ・その他、詳しくは11ページの「5.走行前に点検してください」をご参照ください。

⚠ 警告

改造は事故・故障の原因となりますので、絶対にしないでください。

9. 運 搬

電動カートを運搬するときは、図のように運搬する車両にスロープを置いて電動カートを車両に積み込んでください。

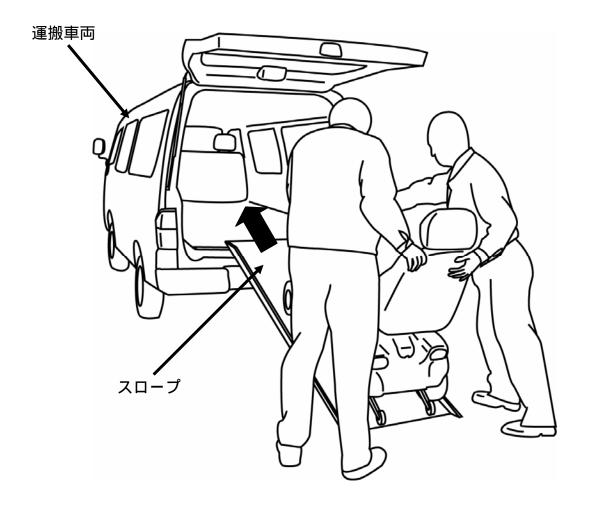
注意

クラッチレバーを上に上げた状態(手動の状態)にしてください。また、積み込み後は、必ずクラッチレバーを下に下げた状態(電動の状態)にしてください。(詳しくは 16ページの「手で押して移動するとき」をご参照ください。)

積み込みの際には、必ず2人以上で作業してください。

積み込んだ後は、ロープなどで確実に固定してください。電動カートを固定していないと、急ブレーキをかけたときなどに電動カートが動き、思わぬ事故の原因となります。

電動カートに人を乗せたまま車両に積み込んだり、運搬しないでください。 (車いす送迎車など、専用の装備、改造が施された車両は除きます。)



10. 故障かなと思ったら・・・

次のような症状がみられたら、次の表に従い点検を行ってください。 それでも異常がみられる場合はただちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

و درار ح	かられる場合はにたらに使用を中止し. 	、気が心口にと注意へんとい。
症状	点検方法	対処方法
電源スイッチ	バッテリーの残量がなくなってい	販売店に相談し点検を受けてくださ
を「入」にして	ませんか?	l I _o
もランプが点	バッテリーのコネクターが外れて	「カチッ」と音が鳴るまで確実に差
灯しない	いませんか?	し込んでください。
 走らない	充電コードプラグをコンセントに	充電コードプラグを抜いてくださ
ESAVI	差し込んでいませんか?	l I _o
	電源スイッチは入っていますか?	キーを差し込んで時計回りにまわし
	电/// グラーは八 フ こいよりか・!	てください。
	バッテリー残量表示の針は「F」を	バッテリーを充電してください。
	指していますか?	
	クラッチレバーは上がって(手動に	クラッチレバーを下げて(電動にし
	なって)いませんか?	て)ください。
走行時間が	充電が完了するまで充電しました	充電が完了(充電器の緑ランプ点灯)
短くなった	か?	するまで充電してください。
	バッテリーを交換したのは1年以	バッテリーを交換してください。
	上前ですか?	パップラーを文撰してくたさい。
	バッテリー残量が不足していませ	バッテリーを充電してください。
 走行中に停止	んか?	ハップラーを元電して、たらい。
する	タイヤが溝にはまっていたり、乗越	一旦アクセルレバーから手を放し、
9 0	えられない段差を走行しようとし	本機が動ける状態にしてから走行し
	ていませんか?	てください。
	急な登り坂を走行しようとしてい	ゆるやかな坂道か平坦路に戻ってく
	ませんか?	ださい。
	長い坂道を連続走行しようとして	直ちに安全な場所へ移動し、5 分以
	いませんか?	上休ませてください。
 充電できない	電源スイッチが「入」になっていま	電源スイッチを「切」にしてキーを
ル电してない	せんか?	抜いてください。
	電源が入らないほどバッテリー電	バッテリーを交換してください。
	圧が低下していませんか?	ハファラ で文式UCNCCVI。
	充電器の電源ランプ(赤色)は点灯	コンセントの差し込みをお確かめく
	していますか?	ださい。
	充電差込プラグはしっかり接続さ	プラグの差し込みを確認してくださ
	れていますか?	l I _o

11. 仕 様

車種	電動カート KE31
早個 	电動力・トトにも
制御方法	アクセルレバーによる無段階制御方式
₹-ター定格出力	24V × 350W × 1個
駆動方法	後二輪直接駆動方式(デフ付)
制御方法	モーター発電制御及び全自動電磁ブレーキ方式
操舵方法	ハンドルによる前輪操舵方式
バッテリー容量 (20時間率)	12V 20Ah × 2個(完全密閉型)
充電器	自動充電器 DC24V 2A 過充電防止回路付き
前進最高速度	6 km/h(無段階調整)
後進最高速度	4.2km/h (無段階調整)
平地連続走行距離	約 2 4 km (但し、バッテリーが初期性能の時)
最大登坂角度	10度
最大段差乗越え高さ	約 5cm
座幅	43cm (肘当て内幅 40.8cm)
座角度	約 4 度
前輪	9インチ(230×70mm) ノーパンクタイヤ
後輪	9 インチ(230×70mm) ノーパンクタイヤ
重量	61kg (バッテリー含む)
長さ×幅×高さ	1160×560×1020 mm

上記仕様は改良等により、予告なしに変更する場合があります KE31 の基本性能は JIST9203-1999 の基準に適合しています。

12.定期点検と記録

安全に使用していただくために下表にしたがって購入 1 ヶ月後、その後 6 ヶ月毎に点検してください。

<車体まわり>

バックミラー	汚れや損傷はありませんか?
反射板 (リフレクター)	破損、ガタはありませんか?
タイヤ	亀裂や損傷はありませんか?
	タイヤはすり減っていませんか?
	釘、石、その他の異物が刺さったり、噛みこんだりしていませんか?
タイヤ取付部	ボルトの緩みやガタはありませんか?
バッテリー	接続部の緩みはありませんか?
	外装の変形やひび割れはありませんか?
配線	ケーブルの破損はありませんか?
	コネクターの緩み、損傷はありませんか?
クラッチレバー	正常に作動しますか?
シート	確実に固定されていますか?
ネジ、ノブ類	緩みはありませんか?

<座席に座って>

ハンドル	大きなガタつきはないですか?
	左右スムーズに動きますか?
バッテリーモニター	残量表示の針が「F」を指していますか?
ホーン(警笛)	ホーンはなりますか?

< 走行して >

アクセルレバー	押さえる、放すの操作で走行、停止しますか?
最高速度設定ダイヤル	速度変化しますか?
モーター	異常音はないですか?
	電磁ブレーキは平坦路では 1m以内で止まりますか?
	下り坂(10度以下の坂)では1.5m以内で止まりますか?

<定期点検記録簿>

(販売店の方へ)

定期点検記録を下表にご記入ください。

노·수·古 디	購入				
点検項目	1 ヶ月後	6 ヶ月後	1 年後	1 年半後	2 年後
バックミラー					
反射板 (リフレクター)					
タイヤ					
タイヤ取付部					
バッテリー					
配線					
クラッチレバー					
シート					
ネジ、ノブ類					
ハンドル					
バッテリーモニター					
ホーン (警笛)					
アクセルレバー					
最高速度設定ダイヤル					
モーター					
点検実施店名					
点検実施日					

<部品交換の記録>			
へ 部 の 文 授 の 記 球 ク			

13.車体番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、車体番号を記録しておいてください。 車体番号は車体後方の車体カバーに貼り付けられています。

車種	KE31- NP
車体番号	

<車体番号貼付位置>



14.保証

保証書

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に当社へご返送ください。

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、 ご希望により有料修理させていただきます。

保証の適用除外となる場合

- (a) ご使用による消耗品および取扱不注意による破損 例) タイヤの磨耗およびバッテリー、パンク、シートの破損等
- (b) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による破損
- (c) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたこと による破損
- (d)保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (e) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用で発生した破損
- (f) 一般に電動車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損

取扱説明書について

- ・運転するときは、必ず携帯してください。
- ・この商品を貸したり、ゆずられる場合は取扱説明書も一緒に渡してください。
- ・なくしたり、汚れて読めなくなったときは、お買い上げいただいた販売店に ご注文ください。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで 各自治体の取り決めにしたがってください。





■本社	〒 651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	₹982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	∓ 220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	₹487-0027	愛知県春日井市松本町1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	₹553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックスビル 5階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒 651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒 819-0055	福岡市西区生の松原1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場 ■神戸第二工場	■いなみの工場		

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。